

【A班】

産業確保という視点とそれを踏まえた街中のにぎわいをしっかり作ってゆく施設、文化ゾーンとして、城山や内藤記念館とも連携してゆくことが重要だといった意見が出され、客席数については学校利用を想定して生徒数を参考にした客席数を考えると良いのではないかと。また、駐車場については、催し物に来館する人のための駐車場の確保数が利用に影響しているのではないかなどの意見も出されました。



【B班】

にぎわいと同等に街の景観をつくってゆくシンボリックな施設、学校の行事でも使用できる施設になればいい、この施設で延岡出身の芸術家を育成することまで踏み込んでゆくのもいいのではないかと、などの意見が出され、野口遵記念館で展示機能を持つのであれば来館者が来る時だけ開いているということはあり得ない、案内をする常駐の職員が必要になるのではないかなどの意見も出されました。



【C班】

旭化成との連携、また内藤記念館との連携を考え、高齢者や子供が使える施設であることも重要ではないかなどの意見が出ました。練習室を作ることに、ホール以外の利用を誘発する仕掛けをつくっていいのではないかと。またレストランなどの飲食施設やお茶が飲めるようなスペースや物産館があるのもいいのではないかと、用事がなくても立ち寄れるような仕掛けが必要なのではないかなどの意見が出されました。



各班が作成したワークシートの内容のすべてをご紹介します

【野口遵記念館が目指すべき役割】

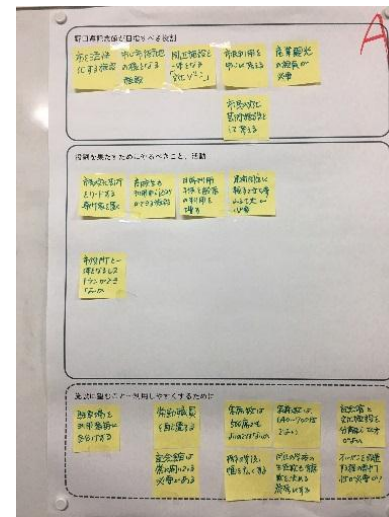
市を活性化する施設/中心市街地の核となる施設/周辺施設と一体となる「文化ゾーン」/市民利用を中心に考える/市民の文化芸術施設として考える/産業観光の視点が必要

【役割を果たすためにやるべきこと、活動】

市民の文化芸術をリードする専門家を置く/高校生も利用申し込みが出来る施設/日常利用、子どもと高齢者の利用を増やす/建物周辺に親子で立ち寄れる工夫が必要/市役所と一体となるレストランが出来ないか

【施設に望むこと～利用しやすくするために】

駐車場を利用者ごとに区分けする/常勤職員を配置する/記念館は常に開いている必要がある/客席数は500席でも良いのではないかと/客席数は640～700位でよい/椅子の前後幅を広げる/周辺の学校の生徒数も客席を決める参考にする/記念館を文化施設と分離した方がよい/オルガンを設置するほどの専門性が必要



【野口遵記念館が目指すべき役割】

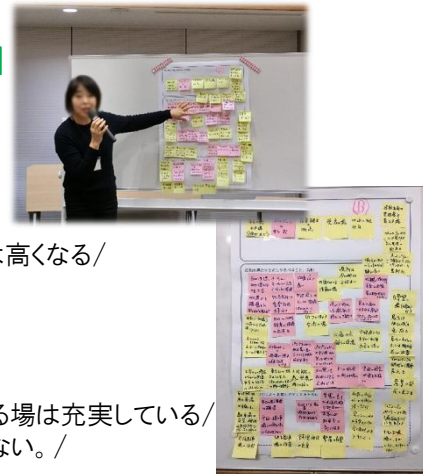
市民の誇れる場(後世まで)/文化ゾーンの形成/産業観光の拠点/発表の場/地域の中核施設/延岡出身の芸術家を育てる場/コミュニティセンターとは異なる文化芸術の施設を/ネームバリューを持たせてコミュニティセンターと差別化

【役割を果たすためにやるべきこと、活動】

800席は大きい600席埋めるのも大変/600席でも積層した客席形状とすれば/日向(1,500席)があるから延岡でのプロ利用は少ない/文化センター(1,300席)もプロモーターから見れば小さい/大学生が滞在しながら創造できる施設にならないか/ハーモニーホールが大きくなった施設を/(コミュニティセンターの)多目的ホール音楽利用できない/800～1,000人程度の規模の施設を/パイプオルガン=延岡が誇る注目施設となる/パイプオルガンのある音の良いホールなら棲み分けが出来る/パイプオルガンの利用頻度は低いのではないかと/夏休みの大学生のコンサート(文化センター小ホール)を野口記念館に/人材育成の為の祭典が開けるように/文化センター小ホールを野口記念館に/500席くらいで良い/600席でも良い音響・音響設備や機能があればプロ利用もある/中規模ホールとしての拠点(文化センターにない)/カフェなどの交流の場/日常的な活動の場/何かに特化した機能を持たせて欲しい/内藤記念館との連携/文化祭にも利用してもらえるのでは/PTA総会が開けるように/場所は今のところは立地が良い/城山がありからレトロな外観が良い/外観(木造、レンガ造り)昔の面影のあるものを/展示と合わせるのなら席数を少なくしてはならない/中規模オーケストラが利用できる舞台に/学校の授業で使えるように/練習の場(日常的な)/展示は旭化成の意向を/展示の方法によっては説明者が必要/ベンベルグの紡式の体験展示を/産業の発展の展示を

【施設に望むこと～利用しやすくするために】

市役所用駐車場の縮小/駐車場の設置、解決は市役所で検討してほしい
立体駐車場の作成/平日の駐車場の確保/平日は駐車場が使えないから利用が少ない/
地下駐車場の設置/託児施設の充実/
音響の良い近代的な施設が出来れば利用率は高くなる/
楽屋の充実/
利用の申込みがないから施設が開かないだけ/
常に人がいないから集まらない/
全て有料エリアでは入りにくい/
コミュニティセンターがある為自由に出入りできる場合は充実している/
市民のスペースが暗い。人がいないのはもったいない。/



【野口遵記念館が目指すべき役割】

市民の健康増進/野口遵翁の展示/三つのホールの中間となる大きさ/子どもたちの教育・育成/高齢者に配慮した施設/市民が使う施設

【役割を果たすためにやるべきこと、活動】

内藤記念館との連携、観光/延岡のものが食べられて、買って帰ることのできる物産品の販売 野口遵の展示との兼ね合い/屋外に売店を作る/映画祭/イベント時に外での飲食販売/展示の説明ができる人→館長/常時開放している施設/高校の文化祭/展示→旭化成との連携/薪能(お面の展示、舞台の設置)/舞台専門家の育成/ランチができる場所、食堂・レストラン/人を連れて行きたいと思えるレストランなど/延岡出身の若手を市民が応援する/活躍している人を市民が応援する仕組み

【施設に望むこと～利用しやすくするために】

文化センターとハーモニーホールの中間の客席数/500席くらいがちょうどよいのでは/2層客席にして1階席のみ利用可に/駐車場がないことがネック/吹奏楽が乗れる舞台面/地下駐車場、立体駐車場の整備/使用料の問題/学生、学校の利用は無料に/観光バスの駐車場/駐車場の問題/わかりやすい表示(サイン計画など)/バリアフリー/舞台面と同じ広さのリハーサル室(学習室としても利用できる)



■ひとことアンケート■

- 公会堂としての機能は是非残すべき。市民の文化芸術利用とは相反するものではない。市役所の近くにあり、シンポジウムなどに使うことは重要な役割と考えます。
- 前回のワークショップの内容をまとめた資料があったので、会議が焦点化された。多方面から多様な意見が出され充実した会になった。今日のマジョリティーを今後の会や施設に生かして行ってほしい。聞き置くだけの場にならないように対応していただきたい。
- 有言実行を望みます。
- なんでもかんでも盛りいれた施設より、これは「すごい」という野口遵記念館になると良いと考えます。
- お金をかければ立派なものが出るが予算(30億)内で使い易い、市民が集う集会所となってほしい。専門委員会の意見も聞きたい。
- ある程度、条件を整理する必要がある。夢を語る場ではなく、利用しやすい施設として構築する必要があると考えます。産業観光の位置付けはお願いしたい。(産業遺産-野口氏を顕彰する場など)
- 内藤記念館、社教センター、図書館等の連携の観点からは、それぞれの役割分担を明確にすべきだと思う。
- 私たちの意見などが少しでも反映されれば良いかなと思います。